

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和4年6月23日(木)

1. 基本事項

施策		地域医療体制の充実		期間	平成30年度～令和4年度	施策担当部課名	福祉健康部 保健センター
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	目的・対象	初期救急医療体制として休日急患診療所・こども夜間診療所、当番医による在宅診療を開設。 第二次救急医療体制として病院群輪番制の運営や県、関係市町と協力しながら小児の二次救急医療体制を整備。第三次救急医療体制として深谷赤十字病院の医師確保を目的に医師育成奨学金貸与制度、後期研修医研修資金貸与制度を実施するなど、市民が安心して救急医療が受けられるように体制を整備する。	かかりつけ医の普及・定着の促進 救急医療体制の充実 医師確保対策の推進	
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり				
	小項目	2	地域医療体制の充実				
	主要プロジェクト						
重要度・満足度	地域医療体制の充実に対する市民の重要度は高く、満足度も高い状況となっている。			施策推進のための主な取組			
施策を取り巻く社会状況等	診療所の閉鎖、診療体制の縮小などによる医師不足により救急医療機関の疲弊などが大きな問題となっている。特に夜間における小児救急医療体制の確保が厳しい状況である。						

2. 評価指標

上段は目標値、下段は実績値

区分	指標名(上段) 算出式・説明(下段)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				一部達成	一部達成	一部達成	一部達成	
成果指標	かかりつけ医がいる市民の割合	%	-	77.90	78.40	78.90	79.40	79.90
	深谷市民まちづくりアンケート		72.70	76.90	75.00	73.40	74.30	
	24時間対応診療日数(第二次救急医療)	日	-	365.00	366.00	365.00	365.00	365.00
	休日夜間に指定された診療が受けられる日数		365.00	365.00	366.00	365.00	365.00	

3. 一次評価(今後の施策の方向性)

区分	拡充	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
<p>かかりつけ医がいる市民の割合が前年度比0.9%増となったものの、平成30年度をピークに2.6%減となっていることから、今後も市民に対し「かかりつけ医の大切さ」や「医療機関の適正受診」について、さまざまな機会を通じて積極的に情報発信していく必要がある。第二次救急医療及び休日こども夜間診療日数は、ほぼ目標値通りであり、維持継続していく。医師奨学生については、深谷赤十字病院での初期診療等が円滑に受けられるよう支援するとともに、進捗管理に努める。</p>				
			評価者	保健センター 所長 穂山光昌

4. 改善改革プラン(3. 一次評価を受けての具体的な解決策)

区分	具体的な対応策等
<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の拡充	<p>「かかりつけ医の大切さ」や「医療機関の適正受診」の周知啓発等、引き続きさまざまな機会を捉え積極的に市民に対し情報発信を行っていく。 また、医師育成奨学生の育成については、令和元年度から奨学生が深谷赤十字病院へ初期研修医として勤務していることから、今後もさらに同病院との連携を深めていく。</p>
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価(所属長の見解)

<p>まちづくりアンケートにおいて、市民の地域医療体制の充実に関する重要度は高く、今後も医療提供体制(初期・第二次・第三次救急医療体制)の維持を図っていく。高齢化の進行や慢性的な医師不足等の課題を抱える中、市民の適正受診への理解が必要なことから、引き続き「かかりつけ医」をはじめとする地域の医療提供体制や「埼玉県緊急電話#7119」等の相談窓口についての周知啓発に努める。</p>	
所属長	福祉健康部長 清水良保